



熊本市立大江小学校

ときめき

2023.2.24(金)

No.157



文責
松永

オンラインを活用した集会が続いています！

新型コロナウイルス感染の拡大防止策の一つに、「密を避ける」ということがあります。そのため、これまで全校児童が体育館に集まって行う集会の形から、オンライン配信に替えて行ってきました。水曜日の朝自習の時間に位置付けられている、学校朝会や児童会集会も同様です。2月15日の企画委員会の発表では、取り組んでいる3つの活動についての紹介がありました。はじめに、毎朝掲揚台に旗を上げて、帰りに旗を下ろしていることの話から始まりました。それはなぜか？ということで、三択クイズが出題されました。教室では、5秒間の考える時間の後に、1番の「大江っ子が今日も“元気いっぱいがんばっています”と伝えている」ことが正解だと聞き、1番と回答した子どもが喜ぶ姿が見られました。次は、代表委員会の運営についてでした。各委員会の委員長、学級の代表が集まって、自分たちの学校生活の向上のために話し合うのが代表委員会です。当日の進行はもちろんのこと、事前の各学級への呼びかけや準備、決まったことの報道なども役割の一つとなっています。最後は、児童会種目の説明でした。取り上げられたのは、運動会で行った児童会種目のタイトルでした。これもクイズでの質問となり、答えである「あなたはえのもんファミリーより賢いの？」が発表された後に続いて、どんな内容だったかについての説明がありました。



問題

企画委員会は地域の人に何を伝えるために旗を上げているのでしょうか？

- 1, 大江っ子が今日も「元気いっぱいがんばっています」と伝えている
- 2, 大江っ子が今日も「苦しみながらがんばっています」と伝えている
- 3, 先生が今日も「楽しみながら授業をしています」と伝えている

樹木医の今村さんからお話を聴きました！（3年生）

大江小のシンボルツリーとして親しまれてきているのが大えのきです。私が担任をしていた時も同様で、大きな樹木の回りには大きな陰が作り出されて、夏場は涼しく憩いの場になっていました。その頃、少し木が弱っていることから、高学年を中心に根に空気が届



■樹木医の今村さん親子です ■木の近くで話を聴きました



■大えのきの回りで学習したり活動したりする子どもたちです

きやすいようにと愛校作業するなど、養生作業に取り組み始めました。そのかいあって、葉の緑色が鮮やかになってきたのを覚えています。しかし、ご存じの方も多いかと思いますが、先代の大えのきは、台風で倒れてしまいました。倒木のニュースを聞いた時は、とてもショックでした。その後、樹木医の今村さんをはじめ関係者の方々の努力と、大江小の子どもたちや卒業生、地域の方々の大えのきを大事に思う気持ちが、木に通じていて成長を続けています。今、プール近くで育っている大えのきは、それを受け継いだものです。この木の回りで作業をしたり遊んだりする子どもたちの姿を目にする機会も多く、嬉しく感じています。3年生は総合的な学習の時間で、この大えのきのことについて調べています。これからも大江小の子どもたちのがんばりを見守ってもらえるように、大事にしていきたいと思っています。

熊本市教育委員会から依頼がありましたのでお知らせいたします。熊本市教育委員会で作成した教育広報誌「with you」2月号が熊本市のホームページで公開されました。今号には、イベント情報や教育委員会からのお知らせが掲載されています。ぜひご覧ください。熊本市ホームページにて「with you」を検索ください。